

道風記念館
企画展

藤田蒼碩の書

令和7年 10月25日 土
11月24日 祝

休館日＝月曜日（祝休日の場合は翌平日）

開館時間＝午前9時～午後4時半

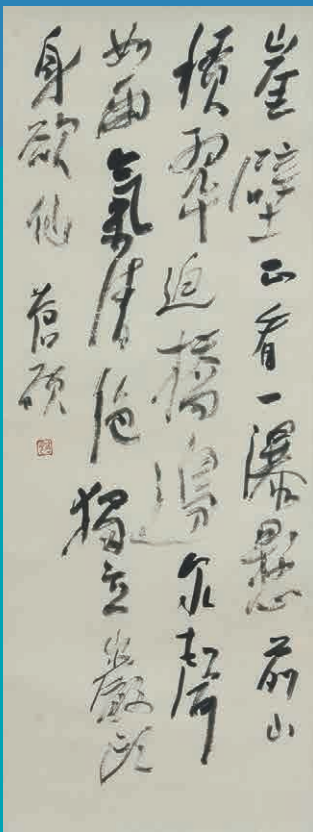
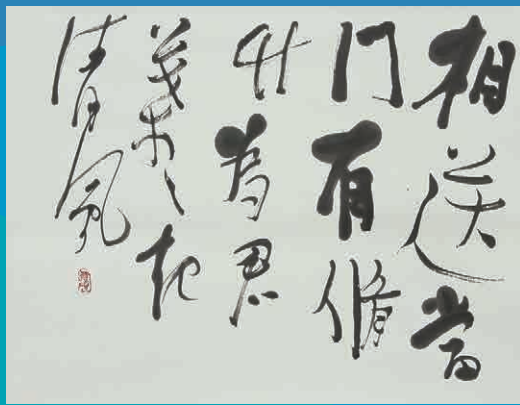
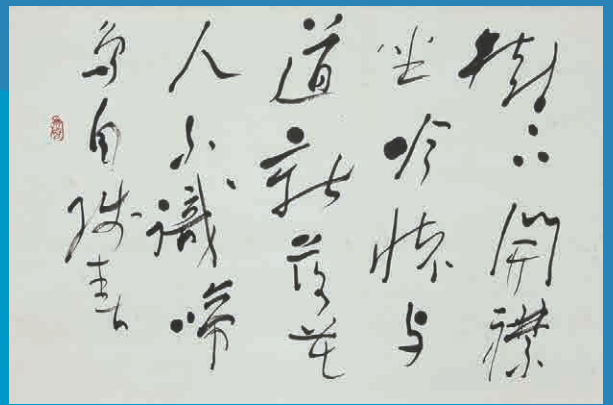
観覧料＝一般100円、高校・大学生50円、中学生以下無料

春日井市道風記念館

〒486-0932 愛知県春日井市松河戸町5丁目9番地3
tel 0568-82-6110
<https://www.city.kasugai.lg.jp/shisetsu/bunka/tofu/index.html>

一点一画のアンバランス。視点を引き全体を見渡すとみえる余白との調和。





道風記念館
企画展

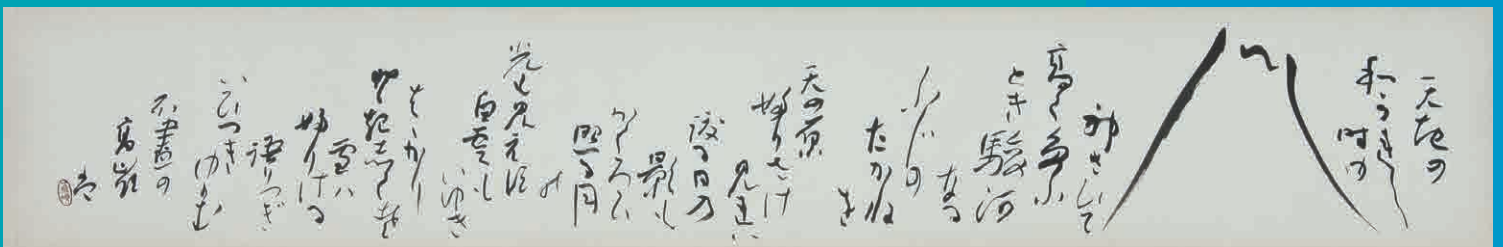
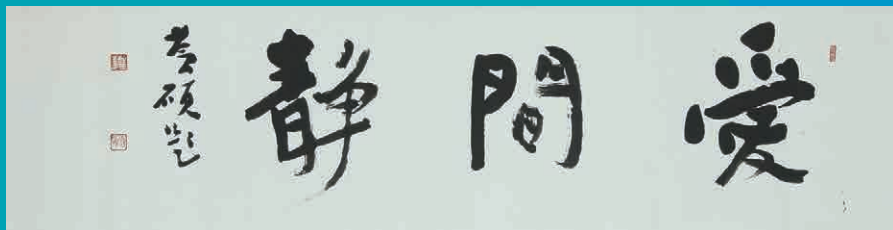
藤田蒼碩の書



藤田蒼碩（本名、喜一）は、明治三十四年（一九〇一）に愛知県春日井市南下原町で生まれました。二十歳から台湾総督府に勤務し、書画・俳句・和歌などの素養を積みました。戦後帰国し、春日井市民美術展の創設や、小野道風公尊賛全国書道展覧会（道風展）の運営に参画するなど、郷土の書道文化振興に尽力しました。また書道研究春鷺会を主宰し、日展会友、中部日本書道会顧問などを務めました。

蒼碩の書は、一字一字をみるとバランスが悪いようにもみえますが、全体を味わうとそのまとまりに納得できる不思議な書です。何気なく書かれているようでありながらその奥には高い見識があり、鋭い感性、自由な表現力によって書かれているのです。現代書の巨匠、手島右卿をして「最高の文人の書」と言わしめた蒼碩の書は、ユーモラスで、余裕の感じられる独特の魅力があります。

今回の企画展では、そうした蒼碩の魅力あふれる書作品だけではなく、これもまた独特の魅力がある絵のある作品や、余技として書かれた皿や湯呑なども展示します。楽しく鑑賞いただけると思います。



春日井市道風記念館

〒四八六〇九三二 愛知県春日井市松河戸町五九三
電話 〇五六八二一六二
<https://www.city.kasugai.lg.jp/chisetsu/bunka/rofu/index.html>

- JR名古屋駅からJR中央本線勝川駅下車徒歩10分
- JR中央本線勝川駅から春日井市道風記念館まで徒歩10分
- JR中央本線大曽根駅からゆとりラインで小幡駅下車徒歩10分
- JR中央本線勝川駅または春日井駅からかすがいシティバス南部線で